

# 京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

2頁 ブロック紹介 京都南部東ブロック

6頁 聖体奉仕者・集会司式者任命

発行 京都司教区  
責任者 村上透磨  
京都市中京区河原町  
三条上ル  
カトリック会館  
FAX  
075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)  
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601



## 生き方が問われるミサ

あなたは自分のためにミサに行くのですか。それともキリストの望む社会の実現を願ってミサに参加しているのでしょうか。

ミサに参加することによって、私たちの生活が変わっていないとすれば、私たちの側にも問題があります。

ミサはごく一般的な義務でも、儀式でも、単に友人に会いに行く場でもありません。ミサに与るとき、「今日をどう生きるか」「今週をどう生きるか」が問われるのです。

神の子・救い主イエスのいけにえの記念であるミサは、何よりもまず私たちが神の望みに完全に応えていない罪人であるとの自覚を教えてくれます。キリストのがないを必要とする罪人であるという自覚なしに、神ご自身と、また神を信じる兄弟姉妹としてお互いに出会うことはできません。ミサの神秘に入るためには、まず自己中心的な信仰観から解放されなければなりません。

(写真は幼児洗礼。  
この子の将来にたくさんのお恵みを。)

6  
2004

## プロック紹介

### 京都南部東ブロック

河原町教会 梅原秀夫

東ブロックの共同宣教司牧への  
ピッヂは他のそれと比較して、遅  
速ではないかと側聞しています。

無論、長い伝統と仕事を持った司  
教座を抱えての特殊性もあります  
が、やはり、大型船は即座に舵が  
切れないように、ここに来て漸く  
動き出した感があります。ブロッ  
ク内他の三教会、北白川、高野、  
山科を観るとき、いづれも試行錯  
誤をしつつも、それぞれの教会の  
特徴を踏まえながら、適切な手法  
で、規約作成のための準備をなさ  
れています。例えば、北白川に於  
いては、各部会毎の規約作成から、  
全体の規約へ。また、山科は先に  
各部への人員の割当から、全体の  
規約へ、また河原町に於いては、  
現在機能している各部の分析から  
始まり、マニュアルの作成に着手  
しています。すべてが作成される  
には、まだ、かなりの時間を要す  
るものと思われます。他のブロッ  
ク内の進捗状況をみながら、鋭意、  
努力致しております。高野教会に  
ついては、二年前から信徒会を廃  
止し、すでに七つの部会が発足し

ています。確かに「一人一役」全員参加を現実として機能さすには、それに長年携わって来た人の固有の情報の思い切った開示が必要であります。ディズニーランドが少しの研修ですぐに代役が出来るよ  
うにマニュアルが整備されている  
ことを考える時、その実行は各部  
署からの重圧の解放につながるも  
のと思われます。長い伝統に支え  
られたものには、徒弟制度の名残  
があります。思い切った発想の転  
換が要請される次第です。

ここで、ブロック内各教会との  
関係について、述べることにしま  
す。発足してからモデラートール神  
父さまの交代などもありましたが、  
現在は概ね順調で、四教会役員は  
定期的なミーティングによる緊密  
な情報交換や相互親睦により、良  
好な関係にあります。しかしながら  
各教会とも、問題がない訳では  
ありません。実際に施行しておら  
れるところも、机上の規約通りに  
行かない、ジレンマに陥っている  
ところもあるようです。

『この楽しい語らいの時があれ  
ばこそ、教会役員を続けておられ  
るのだ』とは、いみじくも漏らし  
た、ブロック内教会役員の胸中で  
あります。

## 社会と共に歩む教会の事例

### ブラジル・フミニタス 慈善協会への 古着発送活動について

河原町教会

また、河原町教会ビンセンシオ  
会から、薬代を含め、年間十回分  
のブラジルへの送料の援助を受け、  
不足分は秋のバザー収益や寄付で  
補っています。

洗濯済みの衣料を選別し、たた  
み直し、箱詰め、梱包、紐かけを  
し、地下の作業場から一階受付へ  
ダンボールを運んで終了するので  
すが、最後の方の作業は、十一～  
十三キロになる箱を扱うので、や  
はり体力勝負です。しかし、長年  
のチームワークの賜物で、皆で力  
を合わせると、アッと言う間に終  
わってしまいます。今ではひと月  
に一度、皆で心地よい汗を流す日  
となりました。梱包作業の傍ら、夜  
回りの会への衣料も選別し、必  
要な物を袋詰めします。

二十一年前に諸先輩方が始めら  
れたこの活動を、今後も息長く続  
けて行くためにも、衣料支援と發  
送作業への積極的な参加を呼び掛  
けていきたいと思います。

(大塚  
緑)

その衣料は、協会においてバザ  
ーに出され、その収益が活動資金に  
充てられています。ブラジルでは、  
貧困家庭も多く、衣料は喜ばれ、  
丈を直したり、縫いをしながら、  
大切に着ていただいていると、昨  
年來日された佐々木神父からうか  
がいました。又、薬や新しい衣料、  
時には文房具等もお送りしていま  
す。



# 侍者合宿

## 信仰教育委員会

三月二十五日から二十七日まで、洛星宗研館を会場に、侍者合宿が行われました。今年の参加者は、小四から小六までの小学生六十一名(女二十七名、男三十四名)、奉仕スタッフは、十九名でした。

参加者は共同体の仲間を大切にすること、いっしょに祈ること、いっしょに学ぶこと、いっしょに生活すること、いっしょに楽しむことを通じて、侍者の心を身につけました。そして二十七日の聖香油ミサにおいて、仲間といっしょに、神様のために、共同体のために奉仕することの喜びを体験しました。以下、参加者三名の感想文を紹介いたします。(一場修)

### 二はく三日のおもいで

津教会 小五  
いとうまさのり  
僕は二日のあいだ、すっごく、

とてもたのしかったです。

シスターも、とっても「やさしかったです。」またこんなきかいがあつたら、いきたいです。神様どうか、二日間の間、今まで、いっしょに、いたみんなをどうか、

安曇川教会 小六 坂本鈴音

私が一番心に残ったのは、二日目のさる山に行つたことと、三日目のせい香油のミサ。

さる山にはたくさんのがいました。もらつた食べ物をとりあつ

守ってください。いっぱいいろいろ、問題が、あつたけど、ほんとうに、みんな、おつかれさまでした。

あとこれだけかきます。

リーダーのつるちゃんと、あとみんなへ。みんな、ぼくはさいしょみんなからきらわれているのかとももいました。だけどつるちゃんとか、みんなが、ぼくをなぐさめてくれました。ほんとうにみんなありがとうございました。だから、みんなが、ぼくをなぐさめてもう、ねむれない

あと、みんなで、せんとうにはいっただけです。あのときは、おもしろくて、とてもさいこうでした。よなかも、もう、ねむれない

ぐらいいこうでした。ほんとうにあります。

### 侍者合宿に参加して

西大和教会 小六 吉岡菜美

最初、みんなと会って、「友達できるかな」と思っていました。

そして最初声をかけてくれたのがじゅんちゃんでした。声をかけてくれた時はとてもうれしかった。それから自己しよう介をしました。私たちのグループのリーダーは、えんどうリーダーでした。自己しよう介が終わって、じ者の練習でした。初めてでドキドキしました。

二日目、いわた山に行つてさるに会いました。それからシスターの話を聞きに行つてその時とてもねむたかった。そして三日目はせいかつた時にだれかが教えてくれたので、なんとなく出来ました。

私はろうそくをもちました。どういう行動をとればいいかわからなかつた時にだれかが教えてくれたので、なんとなく出来ました。

三日目のせい香油のミサでは、私はろうそくをもちました。どう

かつた時にだれかが教えてくれたので、なんとなく出来ました。

神父さまや司教さまはけつこう真けんな顔でミサにのぞんでいたので、すごいな。私も真けんにミサにのぞめば神様は喜んでくれるのにな、と思いました。私はこの合宿で友だちができ、侍者をするのにじしんがもてたので、この合宿に来てよかったです。

来年も来たいと思った!  
とてもたのしかった。いい思い出になつた。

みんなやさしくてよかったです。リーダーもやさしかった。男子もおもしろかったです。

とてもたのしかった。いい思い出になつた。



京都女子カルメル会修道院にて

## 福音センター養成コース案内



## 福音センターニュース

### 滞日外国人とともに

教会における日本人と外国人、どのように迎えるの?  
何をしたらいいの? ともだちになりたいけど…。  
国際化の時代、かかわりについてご一緒に学びましょう。

**日 時** 2004年7月3日(土)午後2時～4日(日)午後3時  
**会 場** カトリック野外礼拝センター(近鉄・京都線 高の原駅下車)

**申 込** 郵便番号、住所、氏名をご記入の上、参加費9,000円を6月20日迄  
カトリック福音センター養成コース宛へお振込みください。  
郵便振替 00920-4-161844

~~~~~

### 第23回 結婚講座

この講座では、結婚の意味を社会学的、医学的そして心理学的な側面から学ぶと同時に、聖書と教会の結婚観を通じて人間の一致の基盤にせまります。

みなさんの結婚生活を、人間の深い望みである愛の一致のしるしとするために共に学びませんか。講座のプログラムは全6回シリーズで、和やかな雰囲気の中でお二人が関わりを体験できるように組まれています。

**期 間** 2004年7月10日、17日、24日の3日間  
**日 時** 各「土曜日」①② 7/10 午前10:30～15:00  
③④ 7/17 午前10:30～15:00  
⑤⑥ 7/24 午前10:30～15:00

**場 所** 河原町カトリック会館6F ホール  
京都市中京区河原町三条上る

**費 用** 一人 10,000円(昼食付)

**申 込** 氏名、住所、電話、郵便番号をご記入の上  
参加費用10,000円を、下記へお送りください。  
郵便振替番号 01010-4-26984  
カトリックきょうと福音センター結婚講座

〒604-8855 京都市中京区壬生淵田町26 カトリック福音センター

Tel 075-822-7123 Fax 075-822-7020 E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp



### 福音って何?

「私と福音宣教」というテーマを前にウーンとなっていました。福音 good news。私にとって、何が good news だったんだろうか? と思い起こしてみました。いつか人は死んでしまうのに、生きる意味は何だろうと悩んでいた私にとって、高校生の頃、宗教の時間を通して聞いたキリストの生き方とメッセージは大きな驚きでした。そしてあらためて今を見ると、物があふれ、情報があふれ、ゆっくりと考えている暇がないほど忙しい私たちにとって一体何が good news だろうか? と。宣教というと福音を述べ伝えるイメージがあり、何かしなければと心がはやるのですが、good news が一方通行になるのではなく相手の心に響くために、何か大切なものが抜けていないかと問い合わせていたのかもしれません。

### 聞くことこそ「福音」

そんな私が思い至ったのは聞く・聴くことの大切さであり、かかわりの大切さでした。私たちの日常生活は、人間関係を抜きにしては考えられません。

しかしその関係が希薄になっていること・人の事は知らない、自分のしたいことが一杯あるからとかかわりを持たない事がいろいろな問題を生み出しているのではないかということです。

イエスの生涯を思いおこすと、イエスも人々の

「信仰はキリストの言葉を聞くことにより始まる」とパウロは語ります。「あかし」の基には、神に聴き、人に聞くことがどうしても必要です。

玉手幸子(宮津教会)

中に住まわれました。イエスは大工でした。その仕事柄いろんな家庭に出入りし、しかも家の奥まで入られたことでしょう。人々の日々の生活のただなかでの嘆きやつぶやき、喜びや楽しみ、痛みや悲しみの声も幾度となく耳にされたでしょう。大工仕事をしながら、私たち人間の弱さを静かに聞き続けられていたのではないでしょうか? そのうえでイエスは、「人はパンだけで生きるのではなく、神のことばによって生きる。」と明言されたのです。

### 神に聴き、人に聴き…

そういえば、旧約聖書の中に何度も「シェマー・イスラエル」(聞け、イスラエル) ということばが出てきます。混沌とした社会の中で、みんな右往左往しています。家庭の複雑な問題の中で、途方に暮れている子供の話など聞くとき、「ほんと、たいへんやね~。」次に言葉が出てこないです。ただ聴いているだけの何もできない自分・立ち尽くしている自分だけです。会うたびに、声をかけ微笑み返すだけ、祈りの中で願う事しかできません。確かに私たちにはできないけれど、主は導かれると信頼することが大切と思います。

日々人々とのかかわりの中で、人を聴き、神に聴き続けるとき、自ずからすることも見えてくるのではないでしょうか?

福音宣教、日々共に歩み続けたいと望みます。



## 一万匹の蟻運動

### 基金累計四千万円を超える

一九九二年四月に発足した「一万匹の蟻」運動の基金が、今年の二月、四千万円を超えた。この運動については、発足後の一回総会報告が、京都教区時報一九三年六月号(第一八八号)五ページに掲載されています。

この運動は、信徒一人ひとりが毎日の神への奉獻を形に表すものとして、一日十円を出し合い、これを基金として積み立て、将来の教区内で聖堂建設のために本当に必要としているところに使おうという趣旨のものです。そしてこの運動を一人でも多く理解し、協力者を増やしていくことが大切なことだと言われています。

「雨の日も風の日も黙々と働く蟻のように、十年を経て基金利息を受け取りました。五十年、百年の大計画、夢には年月が掛かります。孫・ひ孫たちに幸せと喜びをわが主のみ栄えとみ国の建設のための捧げものとして受け渡すのです」と関係者は語っておられます。

戦後、多くの外国人宣教会、修道会の多大な支援で建設された教区内の多くの聖堂などの建物が、

五十年を超えて耐用年数もそろそろ気になる時期に来ています。将来的のことを考えると、その費用をどのように捻出するか、大きい課題ですが、誰かがなんとかしてくれるというのではないこの運動は小さいながら一步ずつ着実に進んでいるようです。  
(編集部)

### 司祭の異動(四月十二日付)

アキリノ・タバモ師(旧任命)  
京都南部地区東ブロック協力司祭  
奈良地区南部ブロック共同宣教司牧 担当司祭

福地幹男師 S.J. (旧任命)  
児島純心女子短期大学・長崎純心聖母会修道院付司祭  
京都北部地区舞鶴ブロック共同宣教司牧 担当司祭

ヴィルフレッド・ボルセス師  
(旧任命) 京都南部地区西ブロック担当司祭  
フィリピン宣教会本部へ転任

五月一日追加任命  
谷口秀夫師(来年三月末まで)  
京都北部地区 協力司祭

ジョン・ウォルシュ師  
教区神学生養成担当者

## 京都教区・外国語ミサ

### 英語ミサ(ENGLISH)

- SAIIN CHURCH 西院教会 ~PAG—ASA COMMUNITY Every Sun. 3 p.m.
- FRANCISCAN HOUSE Every Wed. 3 p.m.
- NISHI MAIZURU CHURCH Every First Sun. 3 p.m.
- KUSATSU CHURCH Every Fourth Sun. 2 p.m.
- HIKONE CHURCH Every First Sun. 2 p.m.
- NARA CHURCH Every Last Sun. 3 p.m.
- YAGI CHURCH Every Third Sun. 2 p.m.
- KORIYAMA CHURCH Every Wed. 3.30 p.m.
- TSU CHURCH Every Second Sun. 2 p.m.
- YOKKAICHI CHURCH Every Third Sun. 1 p.m.
- SUZUKA CHURCH Every First Sun. 2 p.m.
- MATSUSAKA CHURCH Every first Sun. 2 p.m.

### 韓国語ミサ(한국어미사)

- 京都コリアン・カトリックセンター  
第1・2・3日曜日 午前10時

### スペイン語ミサ(ESPAÑOL)

- Iglesia de FUSHIMI 第2日曜日、PM 2:00
- Iglesia de KUSATSU 草津教会  
Segundo Domingo del mes 2 p.m.  
Tercer Domingo del mes 2 p.m.
- Tercer Domingo del mes 2.30 p.m.

- Iglesia de NAGAHAMA 長浜教会  
Tercer Domingo del mes 2 p.m.
- Iglesia de YAGI 大和八木教会  
Primer Domingo del mes 2 p.m.
- Iglesia de NISHI YAMATO 西大和教会  
Segundo Domingo del mes 3 p.m.
- Iglesia de SUZUKA 鈴鹿教会  
Tercer Domingo del mes 2.30 p.m.
- Iglesia de KAMEYAMA 亀山教会  
Tercer Domingo del mes 0.30 p.m.
- Iglesia de TSU 津教会  
Cuarto Domingo del mes 2 p.m.
- Iglesia de YOKKAICHI 四日市教会  
Cuarto Domingo del mes 12 a.m.
- Iglesia de UENO 上野教会  
Tercer Sábado del mes 7.30 p.m.

### ポルトガル語ミサ(PORTUGUES)

- Igreja paróquial do KUSATSU 草津教会  
Segundo Domingo do mes 2 p.m.
- Igreja paróquial do HIKONE 彦根教会  
Quarto Domingo do mes 11 a.m.
- Igreja paróquial do YOKKAICHI 四日市教会  
Primer Segundo Domingo do mes 4 p.m.
- Igreja paróquial do SUZUKA 亀山教会  
Todos los Domingos do mes 6 p.m.
- Igreja paróquial do KAMEYAMA 亀山教会  
Tercer Domingo do mes 0.30 p.m.
- Igreja paróquial do UENO 上野教会  
Tercer Sabado do mes 7.30 p.m.
- Igreja paróquial do HISAI 久居教会  
Tercer Domingo do mes 3 p.m.
- Igreja paróquial do MATSUSAKA 松阪教会  
Quarto Domingos do mes 7 p.m.

お  
知  
ら  
せ

教区委員会から

- ◆聖書委員会▼聖書講演会6日（日）13時半～16時 河原町教会地下ホール テーマ「聖靈—私たちを生かす父の賜物」 講師：鳥巣義文師 会費：五百円▼聖書深読12日（土）10時 中川博通師 河原町会館六階 費用二千五百円（昼食代を含む）、持参品：聖書・筆記用具・ノート（お申し込みは三日前まで）▼聖書講座シリーズ「ルカ福音書を読む—同伴者イエスー」2・3日幸田和生師、9・10日諏訪栄治郎師、16・17日奥村豊師、23・24日西 経一師、30・7月1日沼野尚美氏

教育関係施設から

- ◆聖母教育文化センター▼日曜巡回の旅「京極高吉の墓—山東町清

地区協議会から

- ◆奈良カトリック協議会▼ファミリーデー6日（日）高の原・カトリック野外礼拝センター▼聖書講座シリーズ「み旨が地にも」11・12日大塚喜直司教、25・26日西野猛生師▼正義と平和奈良協議会27日（日）14時 郡山教会「福音と部落問題を考える」発題者太田勝師

- ◆滋賀カトリック協議会▼合同堅信式20日（日）草津教会▼例会20日（日）彦根教会

修道会から

- ◆宇治カルメル会▼聖書深読默想会26日（土）～27日（日）奥村一郎師▼一般のための默想16日（水）10時～16時「聖靈」長岡幸一師

- ◆聖ドミニコ女子修道会▼「ロザリオと共に祈る会」18日（金）10時半 当日どなたでもどうぞ
- ◆京都女子カルメル会修道院▼講演「祈り—わたしに飲ませてください」13日（日）13時半 中川博士 15時からミサ

こんなにちはシスター

岩倉修道院 岩倉修道院教育修道女会



（写真右より、前列Sr. Marilis・ステラ、Sr. Marylou、Sr. Mary・マグダレン、Sr. Leona、Sr. Eriザベス・マリー 後列Sr. Dorothy、Sr. Anna タ、Sr. Marylou、Sr. Gabrielle、Sr. Beata、Sr. Decker、Sr. Grace、Sr. Agnes・マリー（Sr. Margaretは病床のため写っておりません））

ノートルダム岩倉修道院の十五名のメンバーより、皆さまにご挨拶申し上げます。

岩倉修道院は、一九八六年十一月に、地域の人々との交わりを大切にすることを使徒職の一つとする目的をもつて建てられました。ここは、その名も「比叡見が丘団地」と称せられているように、私たちは、比叡山の西側面からの全貌を朝な夕なに、四季折々の美しさを満喫しながら、奉獻生活の日々を送っております。

さて、私たちのコミュニティにおいての、十五人のシスター一人ひとりの使徒職紹介は、紙面の都合上割愛させていただきますが、それぞれが携わっている多彩な職種だけを、以下簡単に列举しておきます。

ノートルダム学院小学校、修道会の本部事務局、盲人ガイドヘルパー、学童保育、特別養護老人ホーム「神の園」及び「のぞみの園」のボランティア、京都犯罪被害者支援センター電話相談員、華道の個人レッスン、書道の個人レッスン、ノートルダム女子大学での「祈りの集い」の手伝い、共同体における様々な奉仕、修院内での病人の介護及びケア全般、長い病床での病苦の日々を通しての奉獻生活など、それぞれの場で日々、福音宣教に励んでおります。

◆ 滝寺徳源院ー」 27日（日） 13時15分 JR柏原駅改札口 講演者  
三俣俊二名譽教授▼聖書講座7日、  
21日19時▼聖書講座4日、11日、  
18日9時半いずれも講師 Sr安藤  
慶子 場所 聖母教育文化センター  
教室▼ベルナデッタ列聖70周年記  
念巡礼旅行8月2日～12日 費用  
三十三万八千円▼問合せ075  
(643) 23320

◆ 諸施設・諸活動から

◆ JOC▼働いている青年の集い  
▼集合場所 京都働く人の家（九  
条教会前）、滋賀働く人の家（大  
津教会裏）。連絡先090(82  
07) 1831

◆ おてんとうさんの会▼例会25日  
(金) 西院教会

◆ 京都カトリック混声合唱団▼練  
習日13日（日） 14時、26日（土）  
19時、いずれも河原町会館六階ホー  
ル

◆ 京都カナの会▼例会・結婚相談  
室6日（日）14時 河原町会館六階ホー  
ル

◆ 京都キリストン研究会▼定例会  
27日（日） 14時 河原町会館六階ホー  
ル

◆ コーロチエレステ▼第一、第四  
木曜日 河原町会館六階ホール

◆ 在世フランシスコ会▼京都兄弟  
会集会19日（土） 13時半 フラン

諸施設・諸活動から

- ◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会▼全国大会4日（金）～6日（日）国立オリンピック記念青少年年総合センター▼河原町協議会13日（日）

◆カトリック聴覚障害者の会京都グループ▼手話教室10日（木）13時 河原町会館六階ホール

◆二金会▼11日（金）西陣教会糠みその会▼例会24日（木）19時45分 九条教会

◆レジオ・マリエ▼20日（日）13時半 河原町会館六階ホール

◆心のともしび▼テレビ（15分間）

\* KBS京都 曰曜日6時  
\* BSS日テレ 曰曜日7時15分  
\* スカイA 土曜日8時45分  
▼ラジオ（5分間）  
\* KBS京都ラジオ

◆「一万匹の蟻運動」基金報告累計四一、五七七、八五三円

▼問合せ 月～金 5時5分  
毎日放送 月～土 4時50分頃  
\* ラジオ関西 日 6時15分

41

『聖書と私たち1・2・3  
「ルカによる福音』

E・メネシュ、高田徳明共著

中央出版

良書紹介

聖書を自分の手もとに引きよせ、ああ聖書って良いものだなああこんな読み方をすれば良いのかなと思われるきつかけになる良書と言えば、この書ではなからうか。

本書の紹介はネメシェギ師による、序文の一部をお借りしたい。「…本書の著者たちは、このルカ福音書を通じイエスと出会った人たちであり、自分の体験を他の人々と分かち合おうと思つて、この書を書き下しています：」

文章もやわらかく、読みやすいものですから、キリスト教について、特別な知識をまだ身につけていない人々にも、イエスと出会う、良い案内書となると思います。

著者たちは、現代の聖書学と、神学の知識を身につけており、自分たちの説明において、それをよく用いていますが、本書そのものは学問的専門書ではなく、自分の毎日の生活において、本当にイエスに従つて、イエスと共に生きようとする人々に、その術を伝え、人々の心をあたためるのです。

ですから、教会や学校などでの聖書研究グループー未だキリスト者でない人々をも含めてーのためにも、すぐれた手引きとなるでしょう。

多くの人々が、いっそ聖書に親しさを感じ、聖書を自分の生活を導く、もっとも貴重な宝として評価するようになると思します。

著者たちのメッセージから「この書は、栄光学園にある、婦人グループ・金曜会が母胎になつて生まれました。：二千年前にかかれた福音書が、現在私たちに語りかけるものは何か、私たちの毎日の生活にどのような関わりがあるのかを考え、それを体験に基づいて話し合つてきました。：」

この書を手にする方が、自分と共同体との関わりにおいて、聖書と私たちの深いつながりを見出し、少しでも多くの人々と喜びを共にされるようにお祈りします。

今年は五月からの聖書講座はルカ書がテーマです。典礼暦もC年、ルカを通しキリストの心に触れてみたいと思います。

(追伸) 書店で聞くと、目下絶版中とのこと。再版が望まれます。

## 大塚司教の

### 6月のスケジュール

- |                   |                                    |
|-------------------|------------------------------------|
| 1日 (火)            | 青少年委員会研修会                          |
| 2日 (水)            | 中央協機構改革委員会<br>15時                  |
| 3日 (木)            | 中央協常任司教委員会<br>10時                  |
| 4日 (金)            | 東京カトリック神学院<br>常任司教委員会 16時          |
| 5日 (土)            | 共同宣教司牧推進チー<br>ム会議 14時              |
| 6日 (日)            | 奈良ファミリー・デーミ<br>サ(野外礼拝センター)<br>13時半 |
| 8日 (火)            | 司祭研修会<br>奈良聖書講座 19時半               |
| 11日 (金)           | 奈良聖書講座 10時                         |
| 12日 (土)           | 奈良聖書講座 10時                         |
| 13日 (日)           | 三重地区合同堅信式<br>(伊勢教会) 14時            |
| 14日 (月) ~ 18日 (金) | 定例司教<br>総会(中央協)<br>14時             |
| 20日 (日)           | 滋賀地区合同堅信式<br>(草津教会) 10時            |
| 21日 (月)           | 女子カルメル修道院訪<br>問(衣笠) 14時            |
| 22日 (火)           | 教区カトリック学校連<br>絡会(校長会) 14時          |
| 23日 (水)           | 共同宣教司牧推進事務<br>室                    |

### ◆編集部から

お知らせに載せたい情報は、前月の1日までに、教区時報担当宛にFAX(表紙右上に表示)か、henshu@kyoto.catholic.jpにお寄せください。

## 世界青年の日の集い

### 有地実希

### 有地実希

### 局会議 14時 会10時

### 世界青年の日の集い

### 司教顧問会・責任役員 会10時

- |         |                        |
|---------|------------------------|
| 26日 (土) | 三重地区集会司式者・<br>聖体奉仕者講習会 |
| 27日 (日) | 河原町ミサ(司教靈名)<br>10時半    |
| 29日 (火) | 教区幼稚園連盟園長会<br>10時半     |
| 30日 (水) | 中央協議会                  |
| 24日 (木) | 局会議 14時<br>会10時        |

### 聖書講座in三重 スケジュール

- |        |        |
|--------|--------|
| 6月19日  | 奥村 豊師  |
| 7月24日  | 大塚喜直司教 |
| 10月16日 | 未定     |

◆帰天  
 ▼イグナス・ブラザーディン・コン・ミン(レデンプトール会)が四月二十四日帰天されました。七十歳でした。永遠の安息のためにお祈りください。

### 青年センターあんてな

「聖体」に関するキーワード「命の糧・契約・仕えるキリスト・共同体」に基づいて分かれ合いをしました。キーワードが決められている分、なかなか容易には自分なりの結論に至ることができないようでしたが、皆それぞれに思いを語り合いました。

その後、この集いの発案者である大塚司教にカテチジスをしていただきました。「聖体」

は“命の糧・契約・共同体・仕えるキリスト”…それぞれのキーワードにおいて何を意味しているのか、教皇のメッセージやマザーテレサの言葉を引用し、ひとつひとつ私たち青年にも分かり易いように語ってくださいました。カテチジスを聞いて、改めてイエス・キリストの生き方を学び、私達はどのように在るべきかを考えることができます。そして班でひとつ共同祈願を唱えました。今回学び考えた事を胸に留め、これから決意表明などを語り、祈りました。皆それぞれ教会がもつと“広い”ものであるように祈っていました。そしてその為に私達は何をすべきなのか、その答えの糸口が少しつかめたような気がしました。その後の聖体拝領は、また格別のものになつたのではないかと思思います。

集いの後、交流会も行いました。新しい出会いもあり、今後を楽しみに感じつつ、集いは締めくくられました。